

生物科学学会連合 第24回定例会議 議事録(案)

日時：2021年12月23日(木) 14:00~16:00

場所：オンラインによる開催

出欠状況：

出席(加盟団体)： *印は兼任または重複出席者を示す。

運営委員(副代表ならびに運営委員は候補者)

小林 武彦* (生科連 2021-2022 代表)

井関 祥子 (生科連副代表) 松永 幸大 (生科連副代表)

中野 明彦 片山 豪* 後藤由季子

団体代表

宮下 直* (個体群生態学会)

菱田 卓 (日本遺伝学会)

平坂 勝也 (日本宇宙生物科学会)

大杉 美穂* (日本細胞生物学会)

高橋 英機 (日本実験動物学会)

野崎 久義 (日本植物形態学会)

前島 正義 (日本植物生理学会)

竹居光太郎 (日本神経化学会)

坂上 和弘 (日本人類学会)

宮下 直* (日本生態学会)

古寺 哲幸 (日本生物物理学会)

津本 浩平 (日本蛋白質科学会)

吉田 将之 (日本動物学会)

永田 崇 (日本比較生理生化学会)

岡部 聡 (日本微生物生態学会)

塚越 哲 (日本分類学会連合)

竹内 理 (日本免疫学会)

東原 和成 (日本味と匂学会)

内田 貴之 (日本宇宙生物科学会)

寺田 純雄 (日本解剖学会)

大出 晃士 (日本時間生物学会)

石田健一郎 (日本植物学会)

藤田 祐一 (日本植物生理学会)

古賀 皓之 (日本進化学会)

宮田麻理子 (日本神経科学学会)

中山 和久 (日本生化学会)

片山 豪* (日本生物教育学会)

南沢 享 (日本生理学会)

稲葉 一男 (日本動物学会)

松田 幹 (日本農芸化学会)

神田 真司 (日本比較内分泌学会)

木村 宏 (日本分子生物学会)

大村 嘉人 (日本分類学会連合)

安西 尚彦 (日本薬理学会)

(計 30 団体)

欠席(加盟団体)： 染色体学会 日本組織細胞化学会 日本発生生物学会
日本バイオインフォマティクス学会

(4 団体)

(加盟合計 34 団体)

出席：大路 樹生 (自然史学会連合)

大杉 美穂* (会計監査委員)

宮下 直* (会計監査委員)

北島 薫 (日本学術会議統合生物学委員会委員長)

佐々木裕之 (日本学術会議基礎医学委員会副委員長)

小林 武彦* (日本学術会議基礎生物学委員会委員長)

辻 省次 (日本医学会)

道上 達男 (JBO 運営委員長)

岸本 健雄 (国立沖縄自然史博物館設立準備委員会)

(敬称略、加盟団体名 50 音順)

事務局 村田 英樹、東海 春香

議題・報告・承認事項：

1.代表挨拶

小林代表より、第24回定例会議開催に当たり挨拶が述べられた。オブザーバーの紹介がなされた。

2.前回議事録確認について

第23回定例会議議事録（案）が確認され、原案通り承認された。

3.令和4年度事業計画ならびに予算案について

事務局より、資料に基づき令和4年度事業計画について、令和3年度と同様の活動を行う予定で定例会議、運営委員会、生物科学学会連合案内パンフレットの作成、各種委員会、地球生物プロジェクト委員会については第4回高校生 生きものの“つぶやき”フォトコンテストの開催、その他シンポジウムの開催などを計画している旨の説明がなされた。引き続き事務局より、令和4年度予算案について、令和3年度と同様の活動を行う想定で同額にしたとの説明がなされた。審議の結果、令和4年度事業計画ならびに予算案は異議なく承認された。

4.関連国際会議について

小林代表より、時節柄特段報告する情報はないが、周知したい国際会議がある場合は、ホームページに掲載するので事務局へ連絡をしてほしいとの依頼がなされた。

5.IBO・JBO（国際生物学オリンピック）について

道上達男国際生物学オリンピック日本委員会運営委員長より、第31回国際生物学オリンピックがオンラインにて開催され、約3000名の学生が出場したとの報告がなされた。オンライン開催に伴い発生した余剰金については、選手が負担していた参加関係経費などに活用する旨の説明がなされた。

6.研究費・人材育成委員会について

井関副代表（委員長）より、活動内容については検討のうえ、改めて次回定例会議にて報告すると説明がなされた。

7.生物教育・大学入試問題検討委員会について

片山委員長より、大学入学試験「生物基礎」および「生物」における用語の扱いに関する調査の現状や、令和4年度より新しい教科書となるため生科連版の用語集作成の検討を行っている旨の報告があり、意見交換がなされた。

8.地球生物プロジェクト委員会について

(1) 高校生 生きものの“つぶやき”フォトコンテストについて

小林代表（委員長）より、昨年度と同等数の応募があり、来年度も高校生 生きものの“つぶやき”フォトコンテストを開催するとの説明がなされた。

(2) 公開シンポジウムについて

小林代表（委員長）より、プログラムに基づき公開シンポジウム「気候変動が生物多様性に与える脅威」がオンラインにて開催されたと報告がなされた。来年度も内容は検討中だが、開催予定であると説明がなされた。

9.DORA への署名について

小林代表より、資料に基づき DORA への署名について、事前に各加盟団体に協議していただいた回答をまとめた結果について説明がなされた。

協議の結果、事前に賛同の回答が得られた加盟団体に加え、定例会議において賛同が表明された日本実験動物学会および日本薬理学会を加え、加盟団体の 2/3 以上である 23 団体が賛同し、生科連として DORA への署名が承認された。

10.日本学術会議について

小林代表より、日本学術会議の会員任命拒否問題に関して、学術会議の設置形態や運営方法などの改革案について引き続き検討しているとの報告がなされた。

また、北島薫統合生物学委員会委員長より、日本学術会議のより良い役割発揮について意見が述べられた。

引き続き佐々木裕之基礎医学委員会副委員長より、日本の学術の研究力低下の要因を検討し改善していくことを目的とした「我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会」が立ち上がったとの報告がなされた。

11.国立沖縄自然史博物館の設立活動について

岸本健雄国立沖縄自然史博物館設立準備委員会代表理事より、資料に基づき国立沖縄自然史博物館の設立に向けた取り組みの進捗状況について報告がなされ、引き続き加盟団体への協力依頼がなされた。

12.その他

小林代表より、日本学術会議「我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会」の補足として 12 月 11 日に開催された「我が国の学術政策と研究力に関する学術フォーラム」の紹介がなされた。

以上